

中央大学の全学の 「知」が結集して、

新しい教育システム「ファカルティ リンケージ・プログラム (FLP)」 が生まれました!

新しい教育システム「ファカルティリンケージ・プログラム (FLP)」が2002年度入学生からスタートします。履修開始は2年次生からです。

「ファカルティリンケージ・プログラム」(FLP)とは…

「ファカルティリンケージ・プログラム」とは、各学部を設置されている授業科目を有機的にリンクさせ、新たな知的関心の領域に対応する教育の「場」を設定するプログラムです。学生は所属学部で学びながら、プログラムの履修ができます。

「ファカルティリンケージ・プログラムの目的と概要」

学生がそれぞれの所属学部で教育課程を修めるといふ基本的な枠組みのもとに、学部の枠を越えて設けられた新たな知的領域を系統的・体系的に学修し、学際的な視点から専門

知識の修得と問題解決能力を高めることを目的としています。

現代社会においては、このような学際的な領域の問題解決能力を必要とする職種が年々増えていることから、2003年度については、「環境」「ジャーナリズム」「国際協力」の3プログラムの開設を予定しています。

「教育システム」

プログラムごとに指定された講義科目群と演習科目群の中から必要な授業科目を、2年次から3年間継続的に履修します。講義科目は、各学部開設されている授業科目から履修し、所属学部の卒業要件としての単位数に含めます。演習科目は、プログラムの中心的授業で少人数の協

調学習の場として独自に開講し、カリキュラム上は各学部を設置します。講義科目と同様に、所属学部の履修単位数に含めます。

「募集と選考」

少人数教育の演習科目をプログラムの基幹科目としていることから、全プログラムとも、それぞれ募集人員を40人に設定しています。プログラムにより異なりますが、エントリーシートのほか、記述試験や口述試験、1年次の学業成績などに基づいて選考を行うことがあります。

「修了後の進路」

各プログラムとも、個々の学生の修了後の進路に向けてキャリアデザインを描けるように、担当教員がその指導を行います。また、各プログラム所定の単位を修得した学生には、卒業時に所属したプログラムの修了証書を交付いたします。

各プログラムの概要について

Ⅰ 環境プログラム

① 設置の趣旨と教育の目的

20世紀最後の10年間に、大量生産・大量流通・大量消費・大量廃棄の社会経済システムがもたらす深刻な環境問題が一般の人々にも広く認識されてきました。自然の浄化能力を超える環境汚染、自然が再生できない資源の枯渇、多くの生物種の絶滅など、人間の生存基盤である地球・地域の生態系は危機的状況にあります。資源やエネルギーを大量に利用して物質的に豊かな生活を追求した人間の諸活動が、地球温暖化から身近なごみ問題までさまざまな環境問題を引き起こしています。こうした環境問題を解決するため、われわれの社会はどのような取り組みを必要としているのか、この点について人々は極めて高い関心を持っています。従って、今日の環境

問題に関する認識と解決について体系的で学際的な教育を行うことは、社会的ニーズに対応していると思われれます。

環境問題は人間活動の総体でもたらす問題であり、その解決には自然科学・社会科学・人文科学にまたがる学際的なアプローチが必要になります。地球温暖化問題の解決一つとっても、気候変化の観測・予測や自然・経済・社会への影響などに関する自然科学的知識が必要であるばかりか、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出をいかに抑制するののかの政策設計や開発途上国の経済発展や国際協定などに関する社会科学・人文科学的知識が必要になります。

さらに、二酸化炭素の排出の大半を占める化石燃料燃焼に代わる、原子力、太陽光、バイオマス、水素などのエネルギーに関する総合的な技術開発や、省エネ型都市交通システムの構築などの脱温暖化の社会づくりには、文理融合的な自然科学・社

会科学の教育とともに、人々のライフスタイルなど価値形成にも関連した歴史・文化・哲学などの人文科学の教育を受けた人材が求められています。

また、市場経済システムの中心的な活動主体である企業が、環境保全についての社会的責任を認識して積極的な取り組みを行っている今日、ISO14001や環境会計・環境監査・環境報告書など社会会計や国際会計などの知識を持った人材や、



製品などのライフサイクル全体の環境負荷の最小化をめざすエコデザインなどの知識を持った人材、さらには環境保全活動を営利活動に結びつけることができるような企業家精神を持った人材が求められています。

以上のことから、環境に関する体系的で学際的な教育工房としての「環境プログラム」の意義はたいへん高いと言うことができます。

② 修了後の進路

本学の大学院および国内外の大学院への進学を目標に設定し、将来的には環境の専門家としての法律家・会計人・公務員・国家公務員・政治家や研究者などをめざします。

II ジャーナリズム・プログラム

① 設置の趣旨と教育の目的

本プログラムは、長谷川如是閑や杉村楚人冠といった、日本のジャーナリズム史に残る著名な先輩たちを輩出した中央大学の伝統を継承し、

ジャーナリズムのさらなる発展をこの中央大学から巻き起こすことを目的としています。そして、学生諸君が、所属する学部で学ぶそれぞれの学問領域の知識と、ジャーナリズム・プログラムで培う専門的知識を融合させることにより、広い視野を持ち、

ものごとの本質を深く考察、分析報告できる能力を持つ人材を育てるためのものです。さらには、日本語及び英語の文章力、プレゼンテーション能力などを養成し、それらを有機的に統合することのできる学生を育て、マス・メディアの世界に期待される人材として送り出すためのプログラムなのです。学生諸君が個々の目的と、将来に向けてのキャリアデザインを描けるように、担当教員はメディア界をも含めた広い社会の要請に十分応えられるよう指導と教育を行います。

② 修了後の進路

新聞、出版、放送・通信、広告業界、国際ジャーナリストなどの人材をめ

ざします。同時に内外のジャーナリズム関連大学院進学をもめざします。

III 国際協力プログラム

① 設置の趣旨と教育の目的

21世紀、人類の抱えるもつとも深刻な問題の一つは、アジア、中東、アフリカ、中南米諸国に広く見られる貧困問題です。地球上の多くの人々が、依然として経済的に厳しい貧困な状況に喘いでおり、栄養、人口、教育、衛生疾病、人権、環境、時には難民、紛争など様々な深刻な問題が生じています。

途上国の経済社会が、この厳しい貧困の悪循環から抜け出して、持続的な成長の軌道に乗るには、そこに住んでいる人々自身による自立した自助努力が不可欠です。すなわち、幅広い分野にわたる社会開発、ハード・ソフトのインフラ整備、計画的な経済開発の推進、市場機能を強めるような産業と企業の育成などに、

今後も長い時間をかけて継続的に全

力で取り組んでいかなければなりません。

同時に、貧困問題の解決には、南北間の継続的かつ大規模な国際協力も不可欠な条件になっています。豊かな先進国が、途上国との緊密な協力のもとに、資金面、人材面、貿易面、情報面の幅広い分野で、今後も長期間にわたって継続して積極的に開発問題に参加しなければ、人類の貧困問題の根本的な解決は極めて困難です。国家レベルでの多様な国際協力、NGOなど民間レベルでの国際協力、さらに、先進国の優れた技術の国際移転や途上国におけるグローバル企業の活動などが、貧しい途上国の経済社会の活性化（テイクオフ）に非常に重要な貢献をしていることは、確かな事実です。

国際協力の諸活動を支え主導しているのは、開発問題に関する様々な分野で高度に優れた専門能力を持つ人材です。すなわち、高度な語学力による国際コミュニケーション能力



や、柔軟な異文化理解・異文化適応能力、途上国問題に関する国際政治や経済社会の分析における高度な専門的知識・技術などが、国際協力に参加する人材にとって不可欠の能力として強く求められています。異文化社会の複雑な社会経済構造を的確に分析し、様々な困難な環境の中でも経済社会の発展の方策を具体的に模索試行する、逞しい精神力と高度な専門能力を持った人材こそが、21

世紀の人类的な課題に挑戦することができるのです。

「国際協力プログラム」は、貧困問題の解決という、世紀の人类的な課題に挑戦する人材の基礎的な専門能力を養成する場として設定されました。「国際協力プログラム」では、国際的なコミュニケーション能力を継続的に強化するとともに、複数学部にまたがる様々な開発問題の専門科目群の学習を進めながら、アジアなど現地社会のフィールドワーク調査による調査報告書の執筆という実践的教育を重視して、途上国社会に密着した現地感覚と鋭い問題意識を深められるよう、3年間の体系的な人材育成のシステムが導入されています。

② 修了後の進路

本学の大学院への進学および海外の大学院への留学を目標に設定し、将来的には国際公務員・国際NGO／NPO、開発援助関連の機関、多国籍企業への就職をめざします。

履修希望者への

ガイダンス等の日程

【履修対象者】

2002年度入学生(現1年次生)

【履修希望者へのガイダンス】

2002年10月下旬予定(開催日時については、10月初旬に各学部事務室掲示板に発表します)。ガイダンスでは、募集要項(エントリーシートを含む)を配布し、各プログラムの教育システムと今後の手続きについて説明します。

【エントリーシートの提出】

日程未定

【履修を希望するプログラムの「エントリーシート」を所属学部の事務室に提出します。】

日程未定

【履修者の選抜及び決定】

日程未定

【提出された「エントリーシート」をもとづいて選抜を行い、履修者を決定します。】

【履修・登録ガイダンス】

2003年3月下旬予定

ガイダンスでは、履修・講義要項等を配布し、履修にあたっての詳細な説明を行います。

【履修登録】

2003年4月下旬予定(各学部履修届提出期間)

【所属学部へ履修科目の登録を行います。】

ご意見・ご質問はこちらへ
中央大学ファカルティリンクページ・プログラムに関する運営委員会
◎FLPに関する問い合わせ先
法学部事務室
経済学部事務室
商学部事務室
理工学部事務室
文学部事務室
総合政策学部事務室
学長室

☎	0426(74)3111
☎	0426(74)3311
☎	0426(74)3511
☎	03(3817)1743
☎	0426(74)3711
☎	0426(74)4111
☎	0426(74)2109